

## 盲学校全国フロアバレーボール大会

8月23日～25日に埼玉県さいたま市総合記念体育館にて第1回全国盲学校フロアバレーボール大会が開催されました。7月の東北大会で優勝し、福島県立視覚支援学校は東北代表として出場しました。

1日目は、公式練習と抽選会でした。緊張感を持ちながら良い練習ができました。

2日目は、開会式と予選リーグが行われました。前日の抽選会の結果、我が校は茨城県立盲学校と長野県松本盲学校との対戦でした。初戦の対茨城戦は第1セット16-17、第2セット9-15、セットカウント0-2で敗れました。続く第2試合の対松本戦は、第1セット15-10、第2セット15-13、セットカウント2-0で勝利しました。初戦の茨城盲学校は後衛からの鋭いアタックを武器にまとまりのあるチームでしたが、福島も手堅いレシーブと前衛からの強いスパイクを武器に善戦することができました。ここで気持ちを切らずに次の松本盲学校戦に挑めたこともあり全国大会での初勝利へとつなげることができました。全試合終了後、決勝リーグ進出の残り一枠をかけて勝ち点で並んでいた宮城県立明星視覚支援学校との厳正なるくじ引きの結果、我が校の決勝リーグ進出が決まりました。

3日目は、決勝リーグと閉会式が行われました。準々決勝で対戦したのは大阪府立大阪北視覚支援学校でした。第1セット12-15、第2セット13-15、セットカウント0-2で惜しくも敗れました。そして3位決定戦では再び茨城県立盲学校との対戦となりました。第1セット3-15、第2セット9-15、セットカウント0-2で敗れました。

初めて開催された全国大会で、各地区を勝ち上がってきたチームのレベルが分からず不安な気持ちで臨んだ大会でしたが、結果的には4位となりました。上位のチームとも恥ずかしくない互角の試合ができていたと好評を頂きました。また、閉会式では本校普通科2年の常松桜が敢闘賞に選ばれ表彰されました。

生徒達はこの全国大会に向けて、夏休みを返上して練習に取り組んできました。日々の練習の中で常に意識していたチーム内の「和」と、楽しんでプレーすることを全国の舞台でも発揮することができました。この大会での仲間との多くの経験は今後の生活の中できっと生かされていくものと思います。「来年こそはベスト3」を合言葉に少しずつ練習を再開している生徒もおります。

全国大会の参加にあたりまして、多くの方からご寄付やご支援を頂きましたことをこの場をお借りして感謝申し上げます。



